

平成 25 年 5 月 13 日

各 位

会社名：ピリングシステム株式会社  
代表者名：代表取締役社長兼 CEO  
江田 敏彦  
(コード番号：3623)  
問合せ先：取締役 CFO 兼管理本部長  
住原 智彦  
(TEL：03-5501-4400)

平成 25 年 12 月期第 2 四半期累計期間及び通期（連結・個別）  
業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 5 月 13 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 25 年 2 月 14 日に公表しました平成 25 年 12 月期（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）の第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 12 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想の修正（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	616	15	15	6	423.88
今回修正予想 (B)	625	46	43	△11	△771.24
差異額 (B - A)	8	30	27	△17	
差異率 (%)	1.4	194.6	180.8	△281.9	
前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 12 月期 第 2 四半期)	702	47	47	△2	△141.75

2. 平成 25 年 12 月期通期連結業績予想の修正 (平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,330	61	60	30	2,046.38
今回修正予想 (B)	1,296	75	71	19	1,265.89
差異額 (B - A)	△33	14	11	△11	
差異率 (%)	△2.5	23.4	18.5	△38.1	
前期実績 (平成 24 年 12 月期)	1,338	△95	△91	△189	△12,638.21

3. 平成 25 年 12 月期第 2 四半期 (累計) 個別業績予想の修正 (平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	521	4	3	3	201.62
今回修正予想 (B)	529	35	31	△14	△993.48
差異額 (B - A)	8	30	27	△17	
差異率 (%)	1.7	643.7	792.0	△592.7	
前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 12 月期 第 2 四半期)	592	34	33	△6	△446.60

4. 平成 25 年 12 月期通期個別業績予想の修正 (平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,135	42	40	25	1,695.77
今回修正予想 (B)	1,102	56	51	13	915.29
差異額 (B - A)	△33	14	11	△11	
差異率 (%)	△3.0	33.7	27.8	△46.0	
前期実績 (平成 24 年 12 月期)	1,111	△115	△113	△196	△13,091.50

## 5. 修正の理由

### (1) 第2四半期連結・個別業績予想の修正理由

子会社の業績は概ね予想どおり推移しておりますが、個別業績におけるクイック入金サービスが証券市場の活況に起因し好調に推移しているため、売上高全体で当初予想比8百万円の増加を見込んでおります。

利益面は、利益率の高いクイック入金サービスの売上高が当初予想を上振れしていることに加え、販売費及び一般管理費を削減し費用を抑制した結果、営業利益・経常利益ともに当初予想を大きく上回り、営業利益30百万円、経常利益27百万円の増加をそれぞれ見込んでおります。

しかしながら、当社が投資有価証券として保有しているイーエムシー株式会社が、平成25年3月15日付で東京地方裁判所において破産手続開始決定がなされたことに伴い、特別損失(投資有価証券評価損)を50百万円計上いたしました。このため、第2四半期当期純利益は当初予想比17百万円の減少を見込んでおります。

### (2) 通期連結・個別業績予想の修正理由

子会社の業績は下期も第2四半期同様、概ね当初の予想どおり推移する見込みであります。一方、個別業績において現状、好調に推移しておりますクイック入金サービスは、証券市場の動向が不透明なため、当初の予想を変更しておりません。

また、ファイナンス取次サービスや収納代行サービスについては、当初予想比で未達が見込まれるため、売上高全体で当初予想を33百万円、下方修正しております。

利益面は、第2四半期同様、販売費及び一般管理費の抑制を継続することで、当初予想比で、営業利益14百万円、経常利益11百万円の増加をそれぞれ見込んでおりますが、第2四半期連結・個別業績予想の修正理由に記載しましたとおり、特別損失(投資有価証券評価損)を計上したため、当期純利益は当初予想を11百万円、下方修正しております。

## 6. 配当金の予想

平成25年12月期の配当金の予想(1株につき配当金750円)につきましては、変更ありません。

※上記の業績につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの予想数値と異なる可能性があります。

以上